

保護者アンケート

1. 子どもが、本日のテーマのように、実社会で使われている科学・技術の世界をより身近に感じるようになるためには、どのような活動が有効だとお考えですか？
 - 自分たちが普段何気なく使っている製品などの製造や、生活の中で最先端の技術、企業秘密などという言葉を混ぜ込むとワクワク感が倍増する。
 - 本日のように、技術者の方々の話を直接聞いたり、現場を見学したりすることで、実社会での科学の重要性を具体的にイメージできるようになると思います。
 - 各企業、民間、自治体が一体となって身近な製品やサービスがどのようなところで研究・開発・製造されているか可能な限りオープンに見学できる機会が増えていくと良いと思う。
 - 実際のものにふれ、原料がどのように変化し製品に代わっていくかを目にするというのではないかと思います。
2. 今日の見学会の意義(以下の選択肢で最も当てはまるものの番号を○で囲んでください)
 - a 大変意義があった(5名)
 - b 少し参考になった(1名)
 - c どちらともいえない
 - d あまり参考にならなかった
 - e まったく意義が無かった
3. 今日の見学会で良かった点、あるいは悪かった点について、具体的なことがらを記載してください。
 - プラント見学は大人にも魅力があった。東港で何をやっているか知ることができた。
 - 個人では見られない構内に入ったり、話を聞いたりできたことがとても有意義だった。
 - 地元企業が地域や日本中、世界中で活躍していることを知ることができた。
 - 化学用語は難しかったが、プラント設備の規模のスケールの大きさは体感できた。
4. 見学会の効果(実習に参加したことによって、身の周りの現象等の見方について、お子さんの成長あるいは保護者ご自身の変化がありましたら、ご記入ください)
 - 気にならなかった場所や工場で、何をしているのか気になるようになった。
 - 科学技術が、世の中で果たす役割について考えるよい機会になったと思います。
 - 私たちの生活の中での化学製品が、こんな所にもあるのかと、今日初めて知ることができました。
 - 子ども自身はあまり変化ない様子。私自身は研究や科学技術が仕事として、工場や製品開発、製造の現場に生かされていることなど興味深く面白いと思った。
5. その他(本連できて続講座についての感想、あるいは要望など、ご自由にお書きください)
 - 座学が少なく、実地が多いので興味をもってできてよかった。
 - 保護者が付き添うと子供たち同士のコミュニケーションが少ないようだ。子供たちに協力して調べさせるようなものがあってもよいのではないか。
 - 様々なスペシャリストの方々からのお話を聞いたり、現場を見学したり、自分で実験してみることで、いろいろなことに興味関心を持つようになった。
 - 今後もこのような工場見学の講座を企画していただきたくお願いします。